

第四次産業革命スキル習得講座認定制度について

経済産業省
経済産業政策局 産業人材政策室

第四次産業革命スキル習得講座認定制度について

通称、キャッチフレーズ、ロゴ

Connected Industries 人材 ～未来へつなぐ

第四次産業革命スキル習得講座（Reスキル講座）



背景

- 急激な産業構造の転換に対応するため、I T・データ等の分野に重点化した「**人材育成の抜本的強化**」が鍵。
- 働きながら第4次産業革命を見据えた能力・スキルを獲得できる職業訓練の充実が必要。

雇用保険特会における「専門実践型教育訓練給付」の更なる拡充

- 10年間で3回、最大168万円の受給を可能に
- 初回に使い残した分についても、2回目以降に支給可能に（これまでの制度では10年に1回のみ）
- 産業界ニーズの高い分野について、**経済産業大臣が認定した講座も対象とし、指定基準を緩和**
 - ・ 民間事業者による講座もOK
 - ・ 資格とヒモ付かない講座もOK
 - ・ 120時間以下の授業時間の講座もOK

（技術変化に応じて3年ごとにスキルアップする学び直しに対応）

- 民間事業者が、社会人向けに提供する I T・データ分野を中心とした専門性・実践性の高い教育訓練講座について、**経済産業大臣が認定する「第4次産業革命スキル習得講座認定制度」を2017年度に創設**（初回認定講座は平成30年4月から開講）。
- 経済産業大臣が認定した教育訓練講座のうち、厚生労働省が定める一定の要件を満たすものは、「専門実践教育訓練給付」の対象となる。

<認定対象分野> ※ いずれも I T S Sレベル4相当以上を目指す

① I T分野

- ⇒ A I、I o T、クラウド、データサイエンス 等 【将来成長が見込める新技術・システムの習得】
（デザイン思考、アジャイル開発等の新たな開発手法を含む）
- ⇒ 高度なセキュリティ 等 【必須スキルの習得】

② I T利活用分野（今後、拡大の予定）

- ⇒ 自動車分野のモデルベース開発 等 【（製造業向け等の）ITによる高度化対応】

■ 講座の要件

- ✓ 育成する職業、能力・スキル、訓練の内容を公表
- ✓ 必要な実務知識、技術、技能を公表
- ✓ 実習、実技、演習又は発表などが含まれる実践的な講座がカリキュラムの半分以上
- ✓ 審査、試験等により訓練の成果を評価
- ✓ 社会人が受けやすい工夫（e-ラーニング等）
- ✓ 事後評価の仕組みを構築 等

■ 実施機関の要件

- ✓ 継続的・安定的に遂行できること（講座の実績・財務状況等）
- ✓ 組織体制や設備、講師等を有すること
- ✓ 欠格要件等に該当しないこと 等

■ 認定の期間

- ✓ 適用の日から3年間

第四次産業革命スキル取得講座認定制度 創設の経緯

平成28年

11月

厚労省との間で経産大臣認定による専門実践訓練給付拡充の方向性について合意

平成29年

4月25日 第四次産業革命スキル習得講座認定制度に関する検討会（第1回）

【座長】

川田 誠一 産業技術大学院大学 学長

【委員】

東 純一 富士通株式会社 執行役員

五十嵐悠紀 明治大学総合数理学部

先端メディアサイエンス学科専任講師

大久保幸夫 株式会社リクルートホールディングス

リクルートワークス研究所 所長

金丸 恭文 フューチャー株式会社

代表取締役会長兼社長 グループCEO

小杉 礼子 独立行政法人労働政策研究・研修機構
特任フェロー

田口 潤 株式会社インプレス ITLeaders編集部
編集主幹兼プロデューサー

宮原 良幸 株式会社ウチダ人材開発センタ
代表取締役社長

室井 雅博 株式会社野村総合研究所 取締役

5月17日 検討会（第2回）

6月9日 「未来投資戦略2017」本年度中の創設を明記

6月15日 検討会（第3回） とりまとめ

7月31日 第四次産業革命スキル習得講座認定に関する告示 制定

9月15日 申請受付（10月末まで）

11月

技術審査

〔IT分野：IPA〕

〔IT利活用分野（自動車）：IPA、JMAAB〕

12月14日 第四次産業革命スキル習得講座認定審査委員会（16事業者23講座を認定）

五十嵐悠紀 明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科専任講師

石橋 金徳 慶應義塾大学大学院
システムマネジメント研究科 特任助教

猪俣 敦夫 東京電機大学未来科学部
情報メディア学科 教授

川田 誠一 産業技術大学院大学 学長

室井 雅博 株式会社野村総合研究所 顧問

山本 祥之 株式会社インテリジェントウェイブ 特別顧問

※ 今後は、半年に1度の頻度で申請・認定を行うとともに、分野の拡大について検討